

ワーク・ライフ・バランス推進計画

公表日 令和3年5月10日

<行動計画に基づく取り組み内容>

1 行動計画期間

令和3年4月1日～令和5年3月31日

2 内容

(1) 所定外労働の削減のための措置

・日常勤務の中で、残業が当たり前になってしまっている。、まだまだメリハリがついていない社員もいる。早期退社に向けての工夫がみられない。このような状況の中、各社員の健康管理、家庭や地域生活の充実を促進する目的として、下記の方策を実施し、定着させる。

目標を達成するための方策と実施時期

従来

1. 所定外労働は遅くても午後10時までとする。
(業務上やむを得ないものを除く 事前の部長承認)
2. 所定外労働は申告制とし、勤怠管理ソフト上にて管理
3. 現場の就労開始時間を状況に合わせて最終午後1時まで遅らせることを可能とする。(事前の部長承認)
4. 毎週水曜日 定時退社の徹底。(上席が率先する。)
5. 部課毎の問題点を抽出し、改善に向けた方策を責任者会議にて検討し、反映させていく。

令和3年4月から

- 令和6年4月からの特例措置解除に向けて、上記方策の徹底と継続により、確実に定着させることに加え
1. 慢性的な人員不足の解消を図るため、積極的な採用活動を実施し、人材の確保に努める。
 2. アウトソーシングを導入することで、一人にかかる負担を軽減し、所定時間外労働の減少を図る。

(2) 有給休暇の取得推進のための措置

・年次有給休暇取得促進対策として、年1回のアニバーサリー休暇と、年4回のリフレッシュ休暇を新設

目標を達成するための方策と実施時期

従来

- ・アニバーサリー休暇年1回
- ・リフレッシュ休暇年4回。

令和3年4月から

- ・休暇日数105日としているため、土曜日の出勤日があるが、仕事に余裕のある場合、有給休暇取得を促進する様に図っていく。

(3) 育児休業等を取得し、又は子育てを行う女性労働者が就業を継続し、活躍できるようにするための取組

目標を達成するための方策と実施時期

令和3年5月から

- ・育児休業から復職後又は子育て中の女性労働者を対象とした能力の向上のための取組又はキャリア形成を支援するためのカウンセリング等を実施する。(働き続けられる環境や心のケアを行う。)
- ・働き続けながら子育てを行う女性労働者への業務体制を整える。